

令和4年4月20日(水)  
国土交通省 関東地方整備局  
大宮国道事務所

## 記者発表資料

**大宮国道事務所発注R4さいたま地区外交通安全対策工事にて  
「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」「見積活用方式」  
「余裕期間制度」を試行します。  
併せて「難工事指定」「施工箇所が点在する工事の積算」を採用します。**

工事発注において、予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予測される工事について不調不落対策を試行しております。

今回発注するR4さいたま地区外交通安全対策工事は、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じていることが予想されたため、以下の(1)(2)(3)を試行、(4)(5)を採用します。

### (1) 「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は、災害活動実績および賞上げの実施を加算点としています。

### (2) 「見積活用方式」

市街地であり現道交通及び沿道店舗等の出入りを確保しながら交差点内での限られた狭隘な作業ヤード内での施工となる工事のため、作業効率が低下することが懸念されます。

このため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証のうえ、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。見積を求める工種は、標準的な積算と乖離が予想される工種より選定しています。

### (3) 「難工事指定」

工事を適切に完成させた場合、その後の発注工事における総合評価項目「難工事施工実績評価対象工事（試行）」を加算対象とする「難工事指定」を試行します。

### (4) 「余裕期間制度（フレックス）」

受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定する制度です。

### (5) 「施工箇所が点在する工事の積算」

施工箇所が点在することから、建設機械を運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所で発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する工事の積算」を採用します。

#### 発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ、さいたま市政記者クラブ

#### 問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局	大宮国道事務所	電話	048-669-1200(代)
副所長(技)	木住野 誠(きずみの)	まこと	(内線205)
交通対策課長	齋藤 隆裕(さいとう)	たかひろ	(内線471)

## R4さいたま地区外交通安全対策工事

### 《工事概要》

- (1) 工事場所: 埼玉県さいたま市北区東大成町二丁目 外
- (2) 工期: 契約締結の翌日から令和5年3月15日まで(予定)
- (3) 入札方式: 公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)
- (4) 工事種別: アスファルト舗装工事 A+B
- (5) 工事内容(概要)

切削オーバーレイ	約9,300m <sup>2</sup>	区画線	約5,200m
盛土工	約400m <sup>3</sup>	小型標識	約5本
ボラード	約40本		

### 《公募型指名競争入札方式について》

競争参加者が少数と見込まれる対象工事ごとに技術資料収集に係わる公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料(参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。)を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は、災害活動実績および賃上げの実施としています。

### 《見積活用方式について》

#### ○見積の提出を求める工種

- ・直接工事費 防護柵工のうち 路側防護柵工

#### ○見積の提出を求める理由

施工箇所は、市街地であり沿道全域に店舗や住宅等が連担し交通量も多い箇所です。

施工にあたっては、現道交通及び沿道店舗等の出入り、かつ、歩行者等の通路を確保しながら限られた狭隘な作業ヤード内での施工とならなければならず、作業効率の低下に伴い、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが考えられるため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

### 《難工事指定について》

「難工事指定」された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事(試行)」の総合評価の評価項目において加点対象となります。

### 《余裕期間制度について》

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、令和5年3月15日までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

### 《施工箇所が点在する工事の積算について》

#### ○点在する工事箇所

さいたま1地区(さいたま市北区東大成町二丁目地先)

さいたま2地区(さいたま市桜区田島七丁目地先)

さいたま3地区(さいたま市浦和区常盤六丁目地先)

さいたま4地区(さいたま市桜区山久保一丁目地先)

さいたま5地区(さいたま市中央区八王子一丁目地先)

春日部地区(春日部市増戸地先)

越谷地区(越谷市新越谷二丁目地先)

杉戸地区(北葛飾郡杉戸町堤根地先)

幸手地区(幸手市内国府間地先)

### 《スケジュール》

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| ○入札公告、入札説明書 交付   | : 令和 4年 4月20日(水) |
| ○技術資料等の提出期限      | : 令和 4年 5月10日(火) |
| ○入札書・工事費内訳書 提出期限 | : 令和 4年 6月 2日(木) |
| ○開札日             | : 令和 4年 6月 7日(火) |

# 公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)の試行について

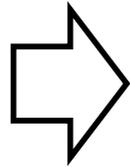
対象は  
一般土木  
C,B+C工事  
維持修繕等

## 【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出  
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮  
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ 指名競争・総合評価落札方式  
→災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上

公示

(工事内容・入札時期・落札方式等)



工事参加希望の意思確認・技術資料の提出  
(参加意思表明申請書+必要資料の提出)



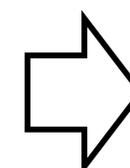
参加要件は企業とし、  
技術者要件は求めない

指名基準による選定



発注(指名通知)

以降は指名競争・総合評価  
落札方式の手続き



指名競争・総合評価落札方式により落札決定

(標準点100点+加算点(11点)+施工体制  
評価点(30点))÷入札価格=評価値  
※加算点は災害活動実績+賃上げの実施  
に関する評価

公募による企業の参加

公募結果に基づく指名

3/3

災害協定の締結や活動に  
係るインセンティブの向上